

平成23年3月期 決算補足説明資料

平成23年5月31日
シダックス株式会社
(JASDAQ スタンダード : 4837)

平成23年3月期 決算トピックス

I. 連結経営成績 [短信 サマリー及び【添付資料】2～3ページ記載]

我が国経済は、新興国の経済成長に牽引された輸出等の増加により、緩やかに回復の兆しが見られていたものの、東日本大震災と福島原子力発電所事故による損害・懸念等が国内経済に及ぼす影響は甚大であり、個人消費の低迷も長期化の様相が見られるなど、企業を取り巻く環境は一層厳しい状況となりました。当社グループでは、グループ総合力を活かしたトータルアウトソーシングによる営業開発、カラオケ新機種を設置や顧客属性別サービス等による売上維持拡大戦略、一元物流食材への切替え促進や店舗経費等のコストコントロールを実施しましたが、東日本大震災の影響もあり、主にレストランカラオケ事業の売上高減少に伴う粗利益減少により大変厳しい結果となりました。

■平成23年3月期 連結業績ハイライト

(単位:百万円)

	平成22年3月期				平成23年3月期				平成23年3月期			
	第2四半期累計(実績)		通 期(実績)		第2四半期累計(実績)		通 期(実績)		前年同期比		通 期(計画)	
		構成比		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率	期初予想	差額
売上高	101,161	100.0%	202,591	100.0%	97,568	100.0%	195,098	100.0%	△ 7,493	△ 3.7%	208,000	△ 12,901
売上総利益	12,564	12.4%	27,163	13.4%	10,105	10.4%	24,259	12.4%	△ 2,903	△ 10.7%	—	—
販売費及び一般管理費	10,059	9.9%	20,112	9.9%	9,913	10.2%	19,947	10.2%	△ 164	△ 0.8%	—	—
営業利益	2,504	2.5%	7,051	3.5%	191	0.2%	4,312	2.2%	△ 2,739	△ 38.8%	8,000	△ 3,687
経常利益	2,265	2.2%	6,851	3.4%	△ 196	△ 0.2%	4,059	2.1%	△ 2,791	△ 40.8%	7,000	△ 2,940
特別損益	△ 141	—	△ 1,309	—	△ 1,991	—	△ 3,083	—	△ 1,773	—	—	—
当期純利益	450	0.4%	881	0.4%	△ 1,885	△ 1.9%	△ 672	△ 0.3%	△ 1,554	—	1,000	△ 1,672
総資産	105,430	—	108,034	—	101,804	—	97,935	—	△ 10,098	△ 9.3%		
純資産	22,738	—	23,023	—	19,744	—	20,786	—	△ 2,237	△ 9.7%		
自己資本	22,586	—	22,920	—	19,644	—	20,678	—	△ 2,242	△ 9.8%		
自己資本比率	21.4%	—	21.2%	—	19.3%	—	21.1%	—	—	—		
ROE(自己資本当期利益率)	2.0%	—	3.9%	—	△ 8.9%	—	△ 3.1%	—	—	—		
ROA(総資産経常利益率)	2.1%	—	6.4%	—	△ 0.2%	—	3.9%	—	—	—		
EPS(1株当たり当期純利益)	11.02円	—	21.56円	—	△ 47.74円	—	△ 17.16円	—	—	—		
BPS(1株当たり純資産)	552.23円	—	560.41円	—	505.02円	—	531.59円	—	—	—		

【売上高】1,950.9億円(前期比△3.7%)

□コントラクト・メディカルフードサービス事業・・・大手製造企業の雇用環境悪化や病院等の経営環境悪化に伴う受託先の契約内容見直しや解約などの影響及び東日本大震災の影響もあり、前期実績を20.2億円下回る。
 □レストランカラオケ事業・・・消費者の節約志向、低価格志向の強まりや日常型レジャーとの競合に加え、東日本大震災と福島原子力発電所事故に伴う臨時休業や営業時間短縮等の影響により、前期実績を41.6億円下回る。
 □トータルアウトソーシング事業・・・地方自治体の財政縮減や民間企業のコスト削減等に伴う契約内容の見直しや解約等の影響に加え、官公庁の車両管理及び一括受託業務の低価格入札を避けた結果、前期実績を27.1億円下回る。

【営業利益】43.1億円(前期比△38.8%)

【経常利益】40.5億円(前期比△40.8%)

□一元物流食材への切替え促進や業務効率の改善に加え、販管費のより一層の適正化等に努め、第3四半期以降レストランカラオケ事業の利益率は回復基調で推移していたが、東日本大震災と福島原子力発電所事故の影響等により売上高が減少した結果、前期実績を営業利益で27.3億円、経常利益で27.9億円下回る。

【当期純損失】6.7億円(前期は8.8億円の当期純利益)

□営業利益・経常利益の落ち込み等により、税金費用の負担額は減少したものの、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額を20.2億円計上及び東日本大震災に伴う商品の破損や建物・設備の毀損等に対する災害損失を1.3億円計上した結果、前期実績を15.5億円下回る。

II. 減損損失の計上について [5/20適時開示資料記載]

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、連結子会社が所有する主にレストランカラオケ事業の用に供する固定資産について減損処理を行い10.2億円を特別損失に計上いたしました。

Ⅲ. セグメント別業績の増減説明

[短信【添付資料】2～3ページ及び32～38ページ記載]

■ セグメント別業績

(単位:百万円)

外部売上高	22年3月期	23年3月期	増減額	増減率
エスロジックス事業	7,021	8,200	1,179	16.8%
コントラクトフード事業	33,194	31,690	△ 1,503	△4.5%
メディカルフード事業	38,128	37,606	△ 521	△1.4%
レストランカラオケ事業	51,961	47,795	△ 4,165	△8.0%
スペシャリティールレストラン事業	18,538	18,160	△ 378	△2.0%
コンビニエンス中食事業	11,870	12,479	609	5.1%
トータルアウトソーシング事業	38,815	36,102	△ 2,713	△7.0%
その他	3,060	3,063	2	0.1%
消去及び全社	—	—	—	—
外部売上高 計	202,591	195,098	△ 7,493	△3.7%

内部売上高	22年3月期	23年3月期	増減額	増減率
エスロジックス事業	46,373	44,065	△ 2,307	△5.0%

(単位:百万円)

セグメント利益(注)	22年3月期	利益率	23年3月期	利益率	増減額	増減率
エスロジックス事業	4,505	8.4%	3,830	7.3%	△ 675	△15.0%
コントラクトフード事業	2,121	6.3%	2,029	6.3%	△ 91	△4.3%
メディカルフード事業	1,315	3.4%	1,446	3.8%	131	10.0%
レストランカラオケ事業	2,065	4.0%	291	0.6%	△ 1,773	△85.9%
スペシャリティールレストラン事業	△ 434	△2.3%	△ 200	△1.1%	233	53.9%
コンビニエンス中食事業	378	3.2%	384	3.1%	6	1.6%
トータルアウトソーシング事業	2,063	5.3%	2,316	6.4%	252	12.2%
その他	445	9.1%	186	4.0%	△ 258	△58.0%
消去及び全社≒HQコスト	△ 5,408	—	△ 5,973	—	△ 564	△10.4%
営業利益	7,051	3.5%	4,312	2.2%	△ 2,739	△38.8%

(注)「セグメント利益」及び「利益率」は内部売上高を含み算出

□エスロジックス事業は、コントラクト・メディカルフードサービス事業及びレストランカラオケ事業の売上高減少の影響を受けた結果、セグメント利益は38.3億円(前期比15.0%減)となりました。

□コントラクトフードサービス事業は、大手製造企業の生産調整・人員配置の見直しなどによる雇用環境の悪化の影響を受け、契約内容の見直しや解約などの結果、売上高は316.9億円(前期比4.5%減)、セグメント利益は20.2億円(前期比4.3%減)となりました。

□メディカルフードサービス事業は、病院などの経営環境が厳しい中、一元物流食材の導入率アップを図るとともに、材料・労務運営管理の徹底及び食材メーカーの集約を図るなど業務効率の改善に努めた結果、売上高は376億円(前期比1.4%減)、セグメント利益は14.4億円(前期比10.0%増)と前期水準を維持しました。

□レストランカラオケ事業は、個人消費の冷え込みが依然として厳しい中、各種キャンペーン企画及び店舗経費等のコストコントロールの結果、第2四半期よりお客様来店数に回復基調が見られ粗利益も改善傾向にありましたが、東日本大震災と福島原子力発電所事故に伴う影響により売上高が減少した結果、売上高は477.9億円(前期比8.0%減)、セグメント利益は2.9億円(前期比85.9%減)と厳しい結果となりました。

□スペシャリティールレストラン事業における国内市場は、個人消費の落ち込みによる外食離れなどの影響を受けましたが、北米市場における観光・行楽施設内の低価格帯レストランのお客様来店数が回復したため、売上高は181.6億円(前期比2.0%減)と前期水準を維持しました。利益面においては、店舗経費等のコストコントロールを行った結果、セグメント損失は2億円(前期は4.3億円の損失)となりました。

□コンビニエンス中食事業は、病院などの経営環境が厳しい中、大手コンビニや多業態からの攻勢などにより厳しい経営環境にありますが、新規店舗を33店出店するとともに、店舗外の売上獲得強化策や労務費及び廃棄ロスの徹底管理による収益性の向上に努めた結果、売上高は124.7億円(前期比5.1%増)、セグメント利益は3.8億円(前期比1.6%増)と前期水準を維持しました。

□トータルアウトソーシング事業は、地方自治体の財政縮減や民間企業のコスト削減等の厳しい経営環境が続く中で、安易な価格競争に走らず受注の絞り込みを行った結果、車両管理事業・社会サービス事業ともに新規受託件数が減少し、売上高は361億円(前期比7.0%減)となりましたが、セグメント利益は23.1億円(前期比12.2%増)を確保いたしました。

IV. 連結貸借対照表の増減説明

[短信【添付資料】4ページ及び13～14ページ記載]

■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	22年3月期	23年3月期	増減額
現金及び預金	13,823	8,570	△ 5,252
売上債権	13,467	12,462	△ 1,004
その他流動資産	8,388	7,665	△ 723
有形固定資産	34,977	33,487	△ 1,490
のれん	12,005	10,997	△ 1,007
敷金及び保証金	11,756	10,491	△ 1,264
その他固定資産・投資等	13,615	14,259	644
資産計	108,034	97,935	△ 10,098

(単位:百万円)

	22年3月期	23年3月期	増減額
仕入債務	8,584	8,314	△ 269
借入金・社債(短期・長期)	48,671	40,784	△ 7,886
リース債務(短期・長期)	7,663	7,989	326
資産除去債務	—	3,034	3,034
その他負債	20,092	17,025	△ 3,066
純資産	23,023	20,786	△ 2,237
自己資本比率	21.2%	21.1%	△ 0.1%

□総資産は、前期末に比べ100.9億円減少し979.3億円(前期末比9.3%減)となりました。

流動資産は、現金及び預金が52.5億円、受取手形及び売掛金が10億円並びに未収入金が8.5億円減少したことにより、前期末に比べ69.8億円減少し286.9億円となりました。固定資産は、有形固定資産が14.9億円、無形固定資産が5.7億円及び保証金の回収等により敷金及び保証金が12.6億円減少したことにより、前期末に比べ31.1億円減少し692.3億円となりました。

□負債は、前期末に比べ78.6億円減少し771.4億円(前期末比9.2%減)となりました。

流動負債は、前期末に比べ6.7億円減少し411.4億円となりました。固定負債は、「資産除去債務に関する会計基準」の適用に伴い資産除去債務を30.3億円計上した一方、長期借入金が91.4億円及びリース債務が5.1億円減少したことにより、前期末に比べ71.9億円減少し360億円となりました。

□純資産は、前期末に比べ22.3億円減少し207.8億円(前期末比9.7%減)となりました。

純資産減少の主因は、当期純損失6.7億円の計上及び剰余金の配当6.1億円により利益剰余金が12.8億円減少したことに加え、取締役会決議による自己株式取得により自己株式が6.5億円増加及び為替相場の変動により「為替換算調整勘定」2.9億円減少したことによります。

以上の結果、当連結会計年度末における自己資本比率は、前期末に比べ0.1ポイント低下し21.1%となりました。

V. 連結キャッシュ・フロー計算書の増減説明及び財政状態の説明

[短信【添付資料】4ページ及び19～20ページ記載]

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	22年3月期	23年3月期	増減額
営業活動キャッシュ・フロー	11,154	8,918	△ 2,236
投資活動キャッシュ・フロー	△ 3,159	△ 978	2,180
財務活動キャッシュ・フロー	△ 8,218	△ 12,863	△ 4,644
換算差額	29	△ 28	△ 57
現金・同等物期末残高	13,291	8,338	△ 4,952

□営業活動の結果得られた資金は89.1億円(前期比20.1%減)となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益は9.7億円でしたが、法人税等の支払額が27.3億円、債務保証履行による支払額が4.5億円あった一方、減価償却費が68.4億円、のれん償却額及び負ののれん償却額が8.6億円、減損損失が10.2億円並びに資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額が20.2億円あったことによります。

□投資活動の結果使用された資金は9.7億円(前期比69.0%減)となりました。

これは主に、有形固定資産の売却による収入が10.8億円、敷金及び保証金の回収による収入が20.3億円あった一方、レストランカラオケ店舗及びスペシャリティールレストラン店舗の新規オープン等に伴う有形固定資産の取得による支出が22.6億円、無形固定資産の取得による支出が10.4億円並びに敷金及び保証金の差入による支出が6.5億円あったことによります。

□財務活動の結果使用された資金は128.6億円(前期比56.5%増)となりました。

これは主に、長期借入れによる収入が48.7億円あった一方、リース債務の返済による支出が40.8億円、長期借入金の返済及び社債の償還による支出が118.9億円あったことによります。

以上の結果、当連結会計年度末における「現金及び現金同等物」は、前期末に比べ49.5億円減少し83.3億円(前期末比37.3%減)となりました。

■ キャッシュ・フロー指標の推移

	21年3月期	22年3月期	23年3月期
自己資本比率(%)	21.0	21.2	21.1
時価ベースの自己資本比率(%)	12.1	14.0	12.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	701.1	505.0	546.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	6.7	8.2	7.1

■ 有利子負債等残高の推移

(単位:百万円)

	21年3月期	22年3月期	23年3月期	増減額
借入金・社債	54,829	48,671	40,784	△ 7,886
リース債務	2,892	7,663	7,989	326
未経過リース料期末残高相当額(注)	9,019	5,227	4,869	△ 358
合計	66,741	61,562	53,643	△ 7,918

(注) 不動産リース取引は除く

VI. 平成24年3月期の通期連結業績予想

[短信 サマリー 及び【添付資料】3ページ記載]

■ 平成23年3月11日に発生した東日本大震災と福島原子力発電所事故に伴う影響は、被災地の復旧・復興の長期化、経済活動の停止等を背景とした景気や消費マインドの低迷、夏場の電力供給逼迫による大規模停電の発生や計画停電の再実施など、先行きの見通しは不透明感を払拭できない状況にあり、当社グループの事業及び業績に直接的又は間接的に影響を与える可能性があることから、現段階では合理的な算定が困難なため未定とさせていただきます。今後、予想が可能となりました段階で速やかにお知らせいたします。

VII. セグメント別店舗数推移表

21年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトラク	増加		47	7	2		2	1	59	5	1	2	3	3	2	75
	減少		9	7	7	6	4	7	40	5	7	8	4	6	86	156
	残	1,538	1,576	1,576	1,571	1,565	1,563	1,557	1,557	1,557	1,551	1,545	1,544	1,541	1,457	1,457
メディカル	増加		39	2	2	2	1	3	49	3	1	1	0	0	1	55
	減少		6	5	8	4	4	8	35	3	3	4	6	4	43	98
	残	935	968	965	959	957	954	949	949	949	947	944	938	934	892	892
レストランカラオケ	増加		0	0	1	2	0	1	4	2	0	0	0	0	0	6
	減少		0	0	0	0	3	0	3	0	0	0	1	0	0	4
	残	302	302	302	303	305	302	303	303	305	305	305	304	304	304	304
車両 管理台数	増加		304	36	35	26	17	18	436	220	15	21	27	8	8	735
	減少		239	31	52	42	27	23	414	74	44	41	46	25	56	700
	残	3,902	3,967	3,972	3,955	3,939	3,929	3,924	3,924	4,070	4,041	4,021	4,002	3,985	3,937	3,937
社会 管理人員	増加		1,106	61	102	50	47	42	1,408	34	30	75	26	18	24	1,615
	減少		542	61	71	43	28	20	765	63	72	59	32	19	39	1,049
	残	4,357	4,921	4,921	4,952	4,959	4,978	5,000	5,000	4,971	4,929	4,945	4,939	4,938	4,923	4,923
コンビニエンス中食	残	352			358				367			369			353	

22年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトラク	増加		28	4	2	2	3	1	40	7	4	3	3	0	1	58
	減少		5	6	6	5	4	14	40	1	5	4	4	6	80	140
	残	1,457	1,480	1,478	1,474	1,471	1,470	1,457	1,457	1,463	1,462	1,461	1,460	1,454	1,375	1,375
メディカル	増加		40	3	2	7	0	1	53	2	3	4	0	2	1	65
	減少		8	5	5	9	6	4	37	4	3	1	6	8	33	92
	残	892	924	922	919	917	911	908	908	906	906	909	903	897	865	865
レストランカラオケ	増加		0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	2
	減少		0	0	0	1	1	2	4	0	0	0	0	0	0	4
	残	304	304	304	304	303	303	301	301	301	302	302	302	302	302	302
車両 管理台数	増加		1,174	32	25	39	17	31	1,318	34	19	27	23	13	16	1,450
	減少		443	101	58	44	34	25	705	63	21	21	31	11	30	882
	残	3,937	4,668	4,599	4,566	4,561	4,544	4,550	4,550	4,521	4,519	4,525	4,517	4,519	4,505	4,505
社会 管理人員	増加		1,819	71	63	125	218	100	2,396	35	47	45	84	16	14	2,637
	減少		897	95	43	49	63	51	1,198	53	56	31	65	15	19	1,437
	残	4,923	5,845	5,821	5,841	5,917	6,072	6,121	6,121	6,103	6,094	6,108	6,127	6,128	6,123	6,123
コンビニエンス中食	残	353			358				359			354			351	

23年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトラク	増加		30	6	1	3	3	5	48	3	2	2	2	3	4	64
	減少		6	2	5	10	6	7	36	2	2	7	0	3	65	115
	残	1,375	1,399	1,403	1,399	1,392	1,389	1,387	1,387	1,387	1,388	1,383	1,385	1,385	1,324	1,324
メディカル	増加		38	5	4	3	3	3	56	6	3	3	1	0	2	71
	減少		4	1	3	6	2	7	23	9	5	2	4	3	34	80
	残	865	899	903	904	901	902	898	898	895	893	894	891	888	856	856
レストランカラオケ	増加		0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	2
	減少		0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
	残	302	302	301	301	301	302	302	302	303	303	303	303	303	302	302
車両 管理台数	増加		275	30	30	40	14	16	405	17	8	18	18	4	15	485
	減少		1,155	25	22	29	25	14	1,270	35	12	20	24	11	13	1,385
	残	4,505	3,625	3,630	3,638	3,649	3,638	3,640	3,640	3,622	3,618	3,616	3,610	3,603	3,605	3,605
社会 管理人員	増加		1,040	30	60	17	110	43	1,300	73	71	24	42	25	4	1,539
	減少		680	67	45	33	38	26	889	78	37	30	35	38	28	1,135
	残	6,123	6,483	6,446	6,461	6,445	6,517	6,534	6,534	6,529	6,563	6,557	6,564	6,551	6,527	6,527
コンビニエンス中食	残	351			365				369			377			377	

VIII. レストランカラオケ事業 月次売上・客数推移

21年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		4,767,765	5,010,133	4,416,644	4,810,008	5,950,085	4,552,766	29,507,400	4,396,448	4,666,879	7,400,226	5,505,085	3,978,396	4,906,002	60,360,436
客数(千人)		3,032	3,208	2,877	3,198	3,995	3,053	19,363	2,838	2,917	3,889	3,342	2,656	3,308	38,313
22年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		4,173,605	4,692,966	3,805,344	4,241,815	4,799,682	3,966,683	25,680,094	3,754,371	3,657,515	6,332,419	4,865,838	3,420,330	4,368,854	52,079,420
客数(千人)		2,698	2,996	2,496	2,719	3,131	2,678	16,718	2,437	2,351	3,379	3,063	2,351	3,098	33,397
23年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		3,784,031	3,929,508	3,368,268	3,976,487	4,466,276	3,738,892	23,263,462	3,765,744	3,426,043	6,214,604	4,544,054	3,275,783	3,341,978	47,831,668
客数(千人)		2,550	2,704	2,395	2,772	3,137	2,622	16,179	2,549	2,259	3,225	2,793	2,223	2,397	31,625